

Bonjour à tous. みなさま、こんにちは！

例年に比べると少し暑すぎるようにも感じますが、緑の映える気持ちのいい気候になってきましたね。みなさまはいかがお過ごしでしょうか。6月に実施されるフランス語試験の準備で忙しくされている方も多いかもかもしれませんが、梅雨前の貴重なこの過ごしやすい時期を、楽しんで過ごしていきましょう！

さて、春学期が始まってすでに1ヶ月が過ぎ、学期も中盤にさしかかりました。残りの課題提出も引き続き頑張りましょう。添削された答案や模範解答を見てもわからない点は、質問サポートをご利用ください。ご利用の際の注意点について、下記に記載がありますのでご確認くださいませ。

## ■東京日仏学院内にレストラン「ロワゾー・ドゥ・フランス」がオープン！

フランス料理界の大御所の一人であるベルナール・ロワゾーのレストランが6月2日にグランドオープンします！

おいしいランチやディナーをお楽しみいただけるのはもちろん、テイクアウトできる軽食のご用意もございます。天気の良い日はお庭のテラスでゆっくりとお過ごしいただくのもおすすめです。ますます魅力ある場所となる東京日仏学院にぜひお立ち寄りください！

レストランの予約ページは <https://ldf-tokyo.jp/>



## ■春学期の最終答案提出について

2024年春学期の**最終答案提出締切日は6月4日(火)**となります。最終提出日を過ぎてから到着した答案については添削の受付ができなくなりまので、お日にちに余裕をもって提出をお願いいたします。提出が間に合わなかった場合は、学習用プラットフォームの模範解答をもとに課題を見直しましょう。

## ■「質問サポート」ご利用について

添削された答案を復習する際、まずは模範解答をよく読みましょう。それでも理解できないところがある場合は、質問を受け付けております。メールアドレスはこちら→[soutien@institutfrancais.jp](mailto:soutien@institutfrancais.jp)

### 【質問サポートをご利用の際の注意点】

- ・メールの件名に「受講コースコード、お名前、受講生コード(例 C12345)」を明記してください。
- ・質問数は、1課題につき1~2つ程度となるよう、お願いいたします。
- ・質問内容によっては回答にお時間をいただく場合もあります。

「受講生ガイド」にも詳しく書かれていますので、合わせてご確認ください。

その他ご不明な点等ありましたら、通信事務局までお問い合わせをお待ちしております。

Un peu de vocabulaire ! En français, il existe un adjectif pour la plupart des noms d'animaux, qui sont parfois très différents du substantif. Essayez de retrouver l'adjectif correspondant à chaque animal et de deviner si les deux ont un rapport étymologique.

今回は、語彙を見ていきましょう！フランス語では、多くの動物の名前に対応する形容詞が存在し、名詞とは大きく形が違ふこともあります。それぞれの動物に対応する形容詞を見つけ、語源的な関わりがあるのかを考えてみましょう。

## aviaire – bovin – canin – ovin – porcin



le bœuf



le chien



le cochon



le mouton



l'oiseau

### le bœuf : *bovin*

*Bœuf* vient du latin *bŏvem*, accusatif de *bos* (« bœuf »). Avec le suffixe *-inus*, *bos* a donné l'adjectif *bovinus*, emprunté au 12<sup>e</sup> siècle pour créer le mot français *bovin*. Même étymologie donc.

### le chien : *canin*

De la même manière, *canin* est un emprunt relativement récent (14<sup>e</sup> siècle) du français au latin *caninus*, adjectif dérivé du latin *canis*, « chien ». Là aussi c'est l'accusatif latin, *canem*, qui a abouti par déformation orale au français *chien*. Même étymologie malgré des formes assez différentes.

### le cochon : *porcin*

Là encore, un emprunt médiéval (14<sup>e</sup> siècle) au latin *porcinus*, dérivé de *porcus*, « cochon ». *Porcus* a donné en français *porc*, qui reste d'usage courant, notamment pour désigner la viande, mais auquel on préfère généralement *cochon*. *Cochon* n'a pas d'étymologie établie et vient sans doute d'une onomatopée.

### le mouton : *ovin*

Pas de rapport non plus entre ces deux mots : *ovin* est, comme les adjectifs précédents, un emprunt savant du Moyen Âge (13<sup>e</sup> siècle) du latin *ovinus*, dérivé de *ovis*, « mouton, brebis ». Issu d'une racine indo-européenne qu'on retrouve dans l'anglais *ewe* (« brebis »), ce mot n'a pas subsisté en français, sans doute en raison de sa brièveté. Il a été remplacé par un mot gaulois *multo* devenu *mouton* en français.

### l'oiseau : *aviaire*

Comme pour tous ces adjectifs, *aviaire* est un emprunt savant au latin : *aviarius*, issu de *avis*, « oiseau ». On retrouve cette racine dans le mot *avion*.

Ce latin *avis* s'est perdu au profit de son dérivé *avicellus*, (« petit oiseau ») qui a évolué en *aucellus* puis *oisel* et enfin *oiseau*. Malgré leur dissemblance, ces deux mots sont donc de la même famille !

### le bœuf : *bovin*

*bœuf* という語はラテン語の *bos* (牛) の対格である *bŏvem* に由来します。 *Bos* に接尾辞 *-inus* をつけることで形容詞の *bovinus* となり、この語が 12 世紀に借用されてフランス語の *bovin* となりました。したがって、語源が同じということですね。

### le chien : *canin*

同様に、*canin* も比較的後年 (14 世紀) に借用された語で、ラテン語の *canis* (犬) から派生した形容詞 *caninus* がもととなりました。形はかなり異なりますが、起源は同じなのですね。

### le cochon : *porcin*

この語もまた、ラテン語の *porcus* (豚) から派生した *porcinus* という語を中世 (14 世紀) に借用してできた語です。 *Porcus* はフランス語の *porc* となり、今日でもとりわけ肉を指し示すために使用されていますが、一般に *cochon* のほうが好んで使われます。 *Cochon* の語源に定説はなく、おそらくオノマトペからきていると考えられます。

### le mouton : *ovin*

この 2 つの語にも関係はありません。 *Ovin* に関しては、前述の形容詞と同様にラテン語の *ovis* (羊、雌羊) から派生した *ovinus* を中世 (13 世紀) に借用してできました。インド・ヨーロッパ語族の語根由来の語としては英語の *ewe* (雌羊) がありますが、この語はおそらくその短さのためフランス語には定着せず、ガリア語 *multo* に取って代われ、フランス語の *mouton* となりました。

### l'oiseau : *aviaire*

他の形容詞と同様に、*aviaire* はラテン語の *avis* (鳥) を起源とする *aviarius* を借用してできました。この語根は *avion* (飛行機) で確認できます。

ラテン語の *avis* は自身から派生した *avicellus* (小鳥) に取って代われ、この語が *aucellus*、次いで *oisel* と変化し最終的に *oiseau* となりました。形の上では似ていなくても、同じグループに属する語だったのでね！